

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月13日更新

事務事業名		老人憩の家維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	健康福祉部	課長名	花田 秀樹
	施策	2	行政改革の推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	木場田 可織
	施策の柱	12	公有財産の管理運営			所属班	介護保険班	(内線)	1163
予算科目		会計一般	款3	項1	目6	事業連番10437	根拠法令	合志市老人憩の家条例・同施行規則・同運営管理規程 指定管理協定書・	
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	○平成6年4月 高齢者の生きがいと福祉を高め、心身の健全と教養の向上及びレクリエーションのための施設として開館した。以来、入浴施設を中心に高齢者の教養娯楽施設として利用されている。 ○平成23年4月 入館(入浴)料金の市内150円を100円に引下げた。※市外400円(据置き) ○指定管理期間 第1期(平成18年9月～平成21年9月)、第2期(平成21年10月～平成24年3月)、第3期(平成24～平成28年度)、第4期(平成29～令和3年度)
【業務の流れ】	【管理】○年度協定の締結(各年度の指定管理料額及び支払方法)、○モニタリングの実施(月次業務報告書、年次事業報告書、アンケート結果報告等を受けての管理運営状況確認)、○50万円を超える修繕費負担等の協議、○指定管理料の支払(四半期毎) 【指定】○管理方法・募集方法・指定期間の決定(政策推進本部会議→議会全協議) ○指定管理者の募集(募集要項と仕様書の作成・配付、募集説明会、申請書審査) ○管財課による選定委員会の開催(選考審査、候補者決定) ○議会への提案 ○指定管理者の指定 ○指定管理基本協定の作成・締結
【主な予算費目】	委託料(指定管理料)、施設修繕負担金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO) ○指定管理者(市社協)に指定管理料を支払い、効率的な管理運営に努めた。また、月次業務報告等により管理運営状況の確認を行い、利用者の重大な事故もなく、設置目的に沿った良好な運営を行っていたが、令和3年2月下旬からレジオネラ属菌発生に伴い当分の間臨時休館とした。 ○老朽化による浴室照明機器の交換やシャワー水栓の交換に伴う費用を負担し、施設の適正な維持管理に努めた。 ○令和3年2月下旬よりレジオネラ属菌検出により温泉利用を中止し、安全対策について検討を行った。		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 指定管理者(市社協)に指定管理料を支払い、効率的な管理運営に努める。また、指定管理期間満了に伴い、次期指定管理事業者の募集・決定を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 指定管理料	千円	女性トイレ壁補修等による施設修繕負担金の増
→ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民(利用者)		→ ア 利用者数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
不都合なく安全に利用してもらう		→ ア 施設・サービス等について満足と答えた割合
		→ イ
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
利用者アンケート(施設・サービス利用に対する満足度)の結果は、意図の達成度を表す指標として適している。利用者に満足していただきたいと考え95%に設定した。		0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込	
① 活動指標		ア イ	千円 12,000	12,111	12,223	12,222	12,222	16,500	16,500	16,500	
② 対象指標		ア イ	人 61,565	58,188	63,000	24,404	63,000	25,000	26,000	27,000	
③ 成果指標		ア イ	% 97.5	98.2	95	97.8	95	95	95	95	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	15,764	12,639	13,488	14,400	14,403	17,127	16,500	16,500
	(A) 事業費計	千円	15,764	12,639	13,488	14,400	14,403	17,127	16,500	16,500	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	290	150	200	330	60	60	60	60
		(B)人件費計	千円	1,143	594	796	1,301	239	239	239	239
トータルコスト(A)+(B)		千円	16,907	13,233	14,284	15,701	14,642	17,366	16,739	16,739	

事務事業名	老人憩の家維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2 年度の事後評価、ただし複数年度事業は 2 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【理由】
	② 3 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 指定管理者から、「不満足」と指摘があった事項の内容を確認し、適切に対応することとしている。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ 【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒ 【理由】 指定管理者による従業者への接遇教育や日々の施設・設備点検等により、上位の満足度に上げることができる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 指定管理者制度による管理運営以外に手段がない。 ふれあい館と温泉源を共用していることやふれあい館に広域避難所等が開設された時の対応などを考慮すると、ふれあい館の指定管理者による一体的な管理運営が望ましい。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 必要最小限の指定管理料の設定であるため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 指定管理者制度を導入しており、直営と比べると業務時間においては削減されている。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】 施設を利用できる者は原則 60 歳以上に限られるが、老人福祉の向上を目的とする公共施設であることから公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 市の所有する老人のための施設であり、指定管理者制度による管理運営が行なわれており適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4 月 14 日より臨時休館とし、5 月 19 日から人数を制限するなど条件を付けて入浴のみ再開した。また、6 月 23 日より日中に館内の消毒作業時間を確保し徹底することでカラオケ利用等を再開。しかし、令和 3 年 2 月に保健所からレジオネラ属菌発生の疑いの連絡を受け、同日より休館。水質検査を行った結果、基準値を超えるレジオネラ属菌が確認され、当分の間休館とする措置を行った。レジオネラ属菌再発防止について対策等を検討中である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												